

令和6年度 宮城県連合小・中学校教育研究会第2回研修会記録

日 時 令和7年2月20日 14:30～

場 所 利府町立しらかし台小学校

参加者 49名【事務局 しらかし台小3名、東豊中1名】

< 情 報 交 換 >

1 事前アンケートの結果について

第1回の総会時に、地区教研及び各領域別部会の運営についての課題が多く出されたため、事務局としてその現状を把握し情報の共有を図る目的で、アンケートを実施した。その中で、課題として大きく2点が出された。

(1) 会員数の減少

多くの部会で出された課題としては、会員数の減少によって体制維持が難しい地区がある、ということである。休会を余儀なくされる地区もあるようである。そのため、県大会等のローテーションの見直しを図っている部会があるようである。

しかし、東北大会や全国大会との兼ね合いがあり、見直しが難しい、という声も上がっている。

(2) 部会の必要性

生徒指導部会や学校事務部会では、教育研究会以外場で集まる会議・研修等があり、情報交換を行っているため、部会の必要性について疑問の声が上がっている。しかし、東北大会や全国大会などの開催を考えると存続の必要があるのでは、とも考えているようである。

2 研修会において共有された意見について

- メディア・情報教育部会は会員数が減少する中、部会運営に危機感を感じたため、GIGA スクール構想に対応することができるよう、視聴覚教育部会と放送教育部会を統合し、情報教育を加えた形で設立した。令和9年度に東北大会を仙台市で実施する。
- 特別支援教育部会は令和7年度に大河原地区で県大会を行う際、近隣の地区は参集型で、他地区はオンデマンドで実施する。研修内容はウェブサイトで紹介する。また東北大会の研究集録は、令和7年度から資料をPDF化して配信するなどデータ配布を行うようにし、経費節減に努めていく。
- 保健教育部会は各地区の実践や研修の報告をデータで配信している。会員が資料を活用しやすく、また経費等の負担軽減につながっている。